

コロンパス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見

1

2017
JAN
700円

2017 都道府県知事の新 新春メッセージ

NEW YEAR MESSAGE VIA COLUMBUS

地方創生の
現状と課題は何か。

起業力を養成し
地場産業の育成をはかれ!!

【元気のでる地域連携塾】

1200人の

山深い小村が

チヨウザメ養殖に挑戦

豊根フィッシュファーマーズ(愛知県豊根村)

【特選銘柄】

刀剣ブームで知名度が上昇中

岡山・瀬戸内市の

異色グローバル戦略

武久頭也・瀬戸内市長

PICK
UP!

【特別編集顧問・浅野純次の「グローバル」人間図鑑】インバウンドで新しい地域資源を発掘!!

「地方のグローバル化」で地方創生

山崎 朗

中央大学経済学部
教授



近・畿

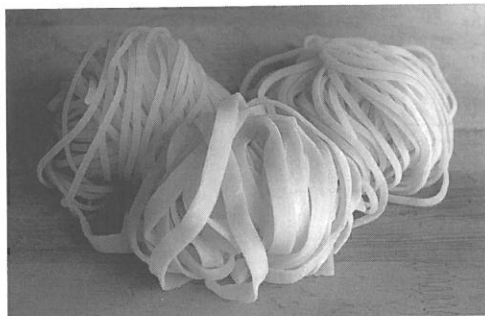
兵庫県

淡路麺業(株)

生。パスタに特化して起死回生
日産3万食、全国1500軒に納品

淡路麺業(株)のある淡路島では弥生時代から製塩と良質な小麦がつくられてきた。そのため、古くから製麺が盛んな地域としても知られている。そんな淡路島内の5つの製麺屋が集まって1968年に設立されたのが淡路麺業(株)。その前身は1909年創業の水室商店という小さなうどん屋さんで、当時は飲食店

兼製麺所として近隣の食堂に麺やだし汁を卸していたという。



乾麺にはないモチモチとした食感がウリの同社の生パスタ3種。納品先のレストランなどからも「茹でのびせず、コシがある」と高い評判を得ている

続の赤字状態となっていた。まさに崖っぷち状態だった」と振り返る。

そこで、出雲社長は新商品の開発に着手。選んだのが当時、まだ日本では普及していなかった生パスタだった。

「うどん、そうめん、ラーメン、焼きそばなどの既存の商品では競争に勝てない。もと

太鼓判押します!!



兵庫県企画県民部
広報課広報専門員
高曽根里恵さん

うどんの製麺技術をベースにあたたかな挑戦。その裏にたくさんの試行錯誤があったことは想像に難くありませんが、乗り越える原動力はやはり「淡路愛」だったのではないのでしょうか。パスタ好きの私としてもこれからの展開から目がはなせません!

もとの設備を利用することができ、かつ競争力のある商品として生パスタに着目した」という。以来、出雲社長は本場イタリアや国内の名店を研究したり、料理専門家のアドバイスを求めたりして、ついに生パスタの発売にこぎつけた。



生パスタで起死回生をはたした出雲社長

■会社概要
所在地：兵庫県淡路市生穂新島9-15
TEL 0799-640811
創業1909年・設立1968年
従業員40人／資本金1500万円
<http://www.namapasta.net>

社長の自社採点

企画開発力	☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆



直営の生パスタ専門店「パスタ フレスカ ダンメン」。地元淡路島の新鮮な食材をふんだんに使ったメニューで人気。工場隣接で常時30種類以上の生パスタが食べられる

取引先であるレストランなどに対しては具体的に生パスタの扱い方に関する知識の提供だけでなく、生パスタを生かした調理法やメニューの開発事例、パスタソースの作り方、そして「繁盛支援業」と名づけたコンサルティングサービスなど、総合的なサポートを展開。また「卸販売の発展のためには、消費者からの直のフィードバックが重要」と、13年には直営の生パスタ専門店もオープンした。

こうした取り組みを経て、いまや1日3万食を生産し、全国1500軒の飲食店に生パスタを納品するまでになった同社だが、その勢いはまだまだ止まらない。最近では生パスタ調理講習会や手打ち生パスタ教室を開催するほか、「全国郷土生パスタフェスタ」などのイベントにも出展して生パスタの普及に努めるとともに、全国で販売代理店の募集を展開している。

社長のひとこと



QRコードのケイタイで読み取ってください。